



3位！

体育大会が3位！ いやぁ～驚いた。合唱祭の時に入賞できずに驚いたし、未だに納得していないが…って、しつこいが（笑）、今回に関しては（みんなには悪いが）「35Rが3位ってホントですか？」みたいな印象である（笑）。

なにせ日比谷の体育大会は、基本「走る」がメインである。棒引きだろうが、綱引きだろうが、なにせ走らないといけないわけで、運動の基本中の基本が生かされた体育大会として見ている分にはとても気持ちイイものがあるのだが、その一方（柔道大会などを得意とする）我が35Rの面々にとっては、いくら練習しても挽回しきれない部分があるのもまた事実ではないだろうか。だから、放課後集まって練習する姿には敬意を表しつつも、それが容易に結果に結びつくとは思っていなかったのである（前号の学級通信にも、微妙にそのニュアンスが漂っているのが感じられたことだろう）。

さて蓋を開けてみると、最初の男子の「白線流し」は、●●君の絶妙なバランス感覚と、普段の生活状況からは想像もつかない機敏な動きによって（笑）、2位という好調なスタートを切ったが、その後の「リレー予選」では、●●君が意地を見せるも残念ながら3位で決勝には進めず、また、午前中最大の山場である「クラス全員リレー」も、バトンタッチの練習や男女の立ち位置の工夫もむなしく結果は第7位ということだったので、この二つのリレーで上位に食い込めなかったからには、総合的な順位も後半組になるのではないかと考えていたのである。

しかし、よくよく考えてみると、女子の「騎馬戦」が優勝、女子の「棒引き」も優勝、そして男子の「騎馬戦」も優勝…ということで、34Rと組んだ白組としての団体種目をすべて制覇しているわけである。結果としてこれが効いたのだろう（あの34Rの優勝にもかなり驚かされたわけだが、やはり同じくここにその勝因ポイントがあったということか）。

その男・女の騎馬戦も、しっかり練習していたようだから、とにかく練習の成果が結果に結びついて何よりである。全員の嬉しそうな表情が印象的であったが、とりわけ表彰式での●●さんの笑顔と●●くんの作りまじめ顔には「やった感」がよく表れていたと思う。記念撮影もしっかりできて本当によかった。

ちなみに、応援団はやはり赤団に工夫が見られた印象。個々の踊りのクオリティではどの団も優劣つけがたいと思うが、赤団はフロア全体を広く使った演出もよかったし、唯一ボンボンで「RED♡」の文字を表現したアイデアも素晴らしく、その辺が他団との差として認識されたのではないかと思う。

*

しかし、担任としては、今までの二つの行事で昨年から大きな成長が見られたことが一番うれしいことである。自分たちで成長しようとして決め、そのために努力し、そしてそれを一つ一つ実現してゆく君たちを、私は誇りに思うのである。最後の行事でも、さらに成長した姿をぜひ見せてほしいものだ。それは必ずや年が明けた後の最後の最後の「成果」に結びついてゆくに違いない。